

第706回:ジージー蟬賛歌

新型コロナや露宇戦争などで揺れ動く中国経済情勢だが、7月15日に中国国家统计局が発表した4~6月期(2Q)の実質成長率は予想値をも下回り、冴えなかった

★前年同期比ベース(2Q)	+0.4%(1Q=+4.8%)	事前予想値:+0.8%~+1.0%
★同上(22年1~6月)	+2.5%	
★前期比ベース	▲2.6%(1Q=+1.3%)	事前予想値:▲1.5%

2Q単体の実績は、前年同期比ベースでも(+0.4%)、前期比ベースでも(▲2.6%)、中国が四半期統計の公表を始めた1992年以降では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で全国的都市封鎖が実行された20年1Q(▲6.9%)以来の低成長率だった。

これにより2022年の経済活動の半分が終わり、1~6月の成長率は前年同期比で+2.5%と発表された。中国政府は本年の成長率目標を「+5.5%前後」とし、昨年より低い目標値を設定したものの、これにて大勢は定まり、統計局にハリリー・フーディーニでも呼び寄せないことには、目標達成はほぼ不可能となった。

経済不振の原因はCOVID-19対策の失敗だ。今更悔いても詮無きことだが、中国は初期のCOVID-19「閉じ込め」政策の成功がアダになり、苦境に追いつめられると云う皮肉な結果に苦しんでいる。

つまり、中国は初期コロナ政策で大成功を収め、それを習近平総書記(兼国家主席)の個人的偉勲として、国内外で喧伝してしまった。今になって、「その政策の誤謬を総括し、政策を軌道修正せよ」と命じることができるのは習御大のみであり、党政府の幕僚たちに面を犯す度胸はない。

おまけに、コロナウイルスも変異に変異を重ねており、中国製ワクチンと封鎖政策でこの先の感染が抑制できる保証はない。より大規模な集団感染が発生し、更に厳しいロックダウンが必要になり、経済的な混乱が拡大し、人民の不安も増大する可能性すらありそうだ。

そのような状況下、今秋に開催される5年に一度の共産党大会で、異例の「総書記・三期続投」を目指す習主席にとって最大の懸念事項は、6月に19.3%と史上最高を記録した若年(16~24歳)失業率や、各地で広がりつつある住宅購入者による「住宅ローン返済ボイコット騒動」など、社会の安定を損ねる事態だ

最近では7月、香港の明報が「上海の著名記者・宣克炅がSNSに投稿した詩が、ネットユーザーたちに習主席批判と受け止められて拡散した後、この記者のSNSが投稿禁止になった」と伝えた。

報道によると中国版ツイッター・微博に載ったのは、「蟬へ」のハッシュタグがついた戯れ歌だ。

《致知了》宣克炅

閉嘴!、说你呢、高高在上、一片聒噪声、平添幾分燥熱、自以為聰明、肥頭大耳、土堆里、蟄伏、5年以上、才爬出陽間、却只会用屁股、唱夏日里的贊歌、不知人間疾苦酷暑

《ジージー蟬へ寄せる詩》宣克炅

口を閉じろ。喧しい、お高く止まって暑苦しく鳴くのはよせ。自分は聡明だと思っているのだろうが、頭や耳まででっぷり太った奴め。土中で5年以上も埋伏し、陽光の下に出てきたら、尻を振って、夏の賛歌を奏でるなんてふざけるな。酷暑に喘ぐ人たちの苦しみを分かっているのか。

この戯れ歌は「打油詩」、つまり平仄や韻律にとらわれない諧謔詩で、題名は「致知了(知了に寄せる)」、知了(zhile ジーラ)とはジージーと鳴く蟬(セミ)への当て字だ。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

これをネット上で目ざとく発見したネチズンは、「お高く止まって」、「聡明のつもり」、「デブ」、「人民の苦しみ」などの細々とした表現を拾い集め、「これは習近平主席に対する暗喩と云うか、あてこすりに違いない」と騒ぎ始め、その詩を転載してしまい、一気に事態が拡大してしまった。

「肥頭大耳」とは、でっぴりと肥えて頭や耳まで大きく太った(旧社会の)金持ちや豪商の意味で、もちろん誉め言葉ではない。水滸伝で云えば、花和尚が持ち前の義侠心に駆られ殴り殺した、旅芸人父娘を苛める悪徳長者・鎮関西のような人物を指すのだろう。

結論から云えば、宣克炅氏の事件は「冤罪」の可能性が高い。報道によると同氏は9年前にも、猛暑の中、木の上で放尿し、自分の顔をびしょ濡れにしたセミに対し「いつか唐揚げにして食ってやる」とする自由詩を書いており、その時は誰からも批判されておらず、今回も習主席を揶揄する意図はなかったようだ。

だが結果的に宣克炅氏の SNS への投稿は禁止されることになり、これに対して「当局による言論弾圧はけしからん」、「たかがジージー鳴く蟬の騒音で、ここまでやりますか」といった批判的な声も強いようだ。

だが新聞記者として作品への批判は無視できず、眼前の火の粉は振り払わねばならない。気の毒なことに宣克炅氏は、「ネットユーザーから誤解されたのは、自分に鋭敏な政治感覚が欠けていたせいだ」と過ちを認めたという。流石は斯界のプロだけあって、中国流自己批判のコツを知っている。

でも冷静になって考えると、けたたましいセミの鳴き声が、見る間に拡大解釈され「お高く止まったデブとは習主席に違いない」と決め打ちされ、「領袖への批判を許すな！」なんて声上がるのを見た習近平さん本人が一番不快感を露わにしているに違いない。やれやれ、鬱陶しい中国の夏、緊張の夏だ。

最後に「打油詩」と云うか、戯れ歌の傑作をもう一つご紹介しよう。

八重桜下廖公子、五月花中韓大哥…喬冠華
莫道倭人功業小、北京売報賺錢多…毛沢東
八重桜の下の廖公子、五月花(メイフラワー)中の韓大哥
云うなかれ、倭人の功業小なりと、北京で報(しんぶん)売れば、賺錢(もうけ)は多し

前半の作者は、毛沢東時代に活躍した外交官の喬冠華。文化大革命で浮沈を経験した喬冠華は毛沢東の前で、「プリンス廖(廖承志)は八重桜の下で日中国交回復に活躍し、韓兄貴(韓叙)はメイフラワーホテルで駐米連絡事務所設置などに取り組んでいる」。それにひきかえ吾が身は…と「打油詩」で愚痴をこぼしたところ、毛沢東がこの作品に下の句をつけて、「七言絶句」に昇格させ、「君は文革中に(失脚して)新聞売りをやらされ、それでしっかり儲けただろう」と揶揄した名作だ。登場の三人は中国外交の大立者で、廖承志は後に全人代副委員長、喬冠華は外相、韓叙は駐米大使をつとめた。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2022年(令和4年)7月20日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3